

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成26年6月19日

6月3日「いのりの日」

～火砕流災害の後に生まれた新採(22才)の報告～

発信元

雲仙復興事務所
調査課 遠藤 亮子

雲仙普賢岳の大火砕流発生から23年が経ち、6月3日「いのりの日」に追悼行事が行われ、噴火災害の遺族の方や報道関係者等の多くの方が定点・農場研修所跡を訪れました。

雲仙復興事務所では、地元の人と事前の草刈りを行うとともに、当日は安全管理のため立ち会う等の協力をしています。

大火砕流が発生した午後4時8分には島原市内にサイレンが鳴り響き、農場研修所跡でも慰霊の鐘が打ち鳴らされ黙祷が捧げられました。

※平成3年6月3日に発生した火砕流によって、噴火活動を正面から見る事ができた「定点」でマスコミ等の方が、当時消防団詰所であった「農場研修所」で土石流を警戒していた消防団の方が多く亡くなりました。



定点からの平成新山



農場研修所跡



大火砕流が発生した午後4時8分に黙祷が捧げられました